

# 「エコマネジメント長野」 各所属における率先取組事例集

エネルギー使用量のグラフ化・  
見える化・情報共有による  
取組意識の向上



タイトル

エネルギー使用量等の見える化、情報共有

所属名

木曾地方事務所地域政策課

No.

1

## 取組み内容

○「信州省エネ大作戦」の期間中、電気使用量の実績を庁舎内の職員に毎週定期的にメールで周知し、節電を呼びかけた。

○また、ピークカットチャレンジの取組みをプレスリリースし、地域住民へ“合同庁舎の取り組み”を宣言するとともに、広く取組みの推進を図った。

### 木曾合同庁舎「さわやか信州省エネ大作戦」の取組結果

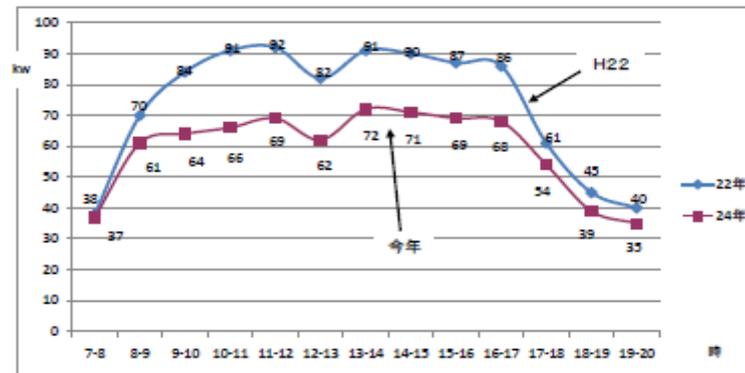
H24.10.16 地域政策課

木曾合同庁舎における「さわやか信州省エネ大作戦」の取組結果は、以下の表のとおりでした。各項目とも、基準年(H22年)と比較して削減することができました。皆様に省エネ・節電の御協力いただいた結果、目標である「平日の13～16時の使用最大電力 平成22年比 ▲10%」を達成することができました。ありがとうございました。今後とも、無理のない範囲で継続的な節電に取り組んでいただきますようお願いいたします。

■使用電力量等の比較 (6/1～9/30、ただしピーク時の平均使用最大電力は6月4週～9月4週)

項目	平成22年(基準年)	今年	削減	削減率(%)	(※)平成22年と今年を比較した削減率(%)
使用電力量(kWh)	125,816	103,937	▲ 21,879	▲ 17.4	2.3
ピーク時(13～16時)の平均使用最大電力(kW)	89.6	70.5	▲ 19.1	▲ 21.3	9.6
冷房使用日数(日)	34	20	▲ 14	▲ 41.2	100.0
冷房用A重法使用量(t2)	3,176	1,260	▲ 1,916	▲ 60.3	106.9

■時間別平均使用最大電力の比較グラフ (6月4週～9月4週)



引き続き、節電に御協力をお願いします！





タイトル

エネルギー使用量等の見える化、情報共有

所属名

財産活用課

No.

2

## 取組み内容

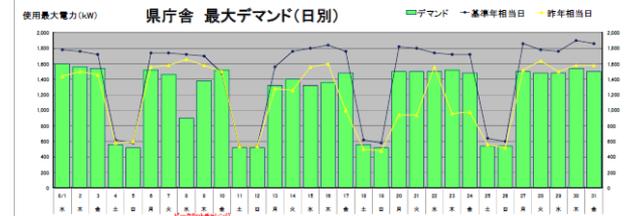
○「信州省エネ大作戦」の期間中、県庁舎における電力使用量を毎月職員ポータルサイトに掲載し、取組の見える化及び情報共有により、職員の取組意識の向上を図りました。

「さわやか信州省エネ大作戦・2012夏」県庁舎電力使用状況 【8月】

県庁舎	区分	削減目標		8月の状況
	使用最大電力	基準年(H22)夏期最大比	▲10%	▲12.6%
電力使用量	基準年(H22) 同月比	▲10%	▲12.9%	

		基準年(H22)比 (削減率)	H24	基準年(H22)	参考(H23)
使用最大電力 (最大デマンド)	8月最大	14.0% 減	1,600 kW	1,860 kW	1,660 kW
	夏期最大	12.6% 減	1,660 kW	1,900 kW	1,700 kW
電力使用量	8月合計	12.9% 減	548,860 kWh	630,130 kWh	534,230 kWh
	開庁日平均	7.1% 減	21,813 kWh	23,491 kWh	19,240 kWh
	閉庁日平均	9.9% 減	11,348 kWh	12,591 kWh	11,464 kWh

8月の県庁舎におけるデマンド、電力使用量の状況は、基準年と比較して10%以上削減されました。ただし、8月の電力使用量合計は昨年と比較すると3%増加しました。長野気象台発表によると、長野の今年8月の平均気温は統計開始以来4番目の高温で、一月を通じた曇りの影響で昨年より増加したと考えられます。  
 (30℃以上の気温観測日数 H24=28日、H22(基準年)=29日、H23(昨年)=24日)  
 (35℃以上の気温観測日数 H24= 4日、H22(基準年)= 9日、H23(昨年)= 2日)



節電に御協力をお願いします！





タイトル

電力使用量の見える化

所属名

松本地方事務所地域政策課

No.

3

取組み内容

○毎日の使用量、最大消費電力等を一覧表にし、入庁機関に対し情報提供（夏場は毎週、冬場は毎月）し、意識啓発を図った。

「さわやか信州省エネ大作戦・2012夏」松本合同庁舎電力使用量

日付	一日使用電力量 (対前年度同曜日) kWh					ピーク時(13時~16時)最大消費電力 (削減目標 平成22年比△10%) kW								最高 気温	空調稼働				備考
	H24		基準年 H22		前年 H23		H24		基準年 H22		前年 H23		H24		H24	H23	H22		
	使用電力量	使用電力量	増減率	使用電力量	増減率	最大電力	時間	最大電力	時間	増減率	最大電力	時間		増減率					
6/15 (金)	2,705.40	3,150.86	-14.14%	2,964.19	-8.73%	187.20	14:00	248.16	14:00	-24.56%	203.81	13:30	-8.15%	27.4°C	-	-	-		
6/18 (月)	2,706.70	3,073.48	-11.93%	2,939.11	-7.91%	177.60	14:30	208.56	13:30	-14.84%	210.67	13:30	-15.70%	26.1°C	-	-	-		
6/19 (火)	2,862.20	3,243.25	-11.75%	2,895.82	-1.16%	196.20	13:30	224.94	13:30	-12.78%	195.36	13:00	0.43%	19.7°C	-	-	-		
6/20 (水)	2,717.90	3,226.65	-15.77%	2,825.86	-3.82%	189.00	14:30	227.56	14:00	-16.94%	199.58	14:30	-5.30%	27.9°C	-	-	-		
6/21 (木)	2,763.40	3,324.52	-16.88%	3,120.22	-11.44%	180.20	13:30	241.3	13:30	-25.32%	219.12	13:00	-17.76%	23.9°C	-	-	-		
6/22 (金)	2,621.90	3,269.87	-19.82%	2,987.69	-12.24%	160.00	13:30	248.14	14:00	-35.52%	201.17	13:30	-20.47%	24.1°C	-	-	-		
6/25 (月)	2,746.70	3,516.72	-21.90%	3,059.50	-10.22%	173.60	14:30	260.3	14:00	-33.31%	202.75	13:30	-14.38%	26.9°C	-	-	-		
6/26 (火)	2,694.20	3,473.71	-22.44%	3,038.90	-11.34%	178.40	13:30	260.82	13:30	-31.60%	192.72	14:30	-7.43%	27.5°C	-	-	-		
6/27 (水)	2,843.50	3,360.49	-15.38%	3,651.91	-22.14%	201.20	14:00	252.38	13:30	-20.28%	284.59	13:30	-29.30%	27.8°C	-	◎	-		
6/28 (木)	2,786.10	-	-	2,947.30	-5.47%	180.00	14:30	-	-	-	187.97	13:30	-4.24%	27.1°C	-	-	-	H22データなし	
6/29 (金)	2,685.70	3,403.22	-21.08%	3,683.86	-27.10%	180.60	13:00	251.86	13:00	-28.29%	344.26	14:00	-47.54%	28.8°C	-	◎	-		
6月計	27,347.60	33,042.77	-17.24%	31,167.06	-12.25%	201.20	-	398.11	-	-49.46%	355.87	-	-43.46%						



タイトル

エネルギー消費量の見える化等による総合的省エネ活動

所属名

長野家畜保健衛生所

No.

4

## 取組み内容

○所内にエネルギー等消費をグラフ化し、所内に掲示。職員の意識向上につながった。(写真1)

○室内の明るさには充分留意し、事務室等の蛍光灯を制限した。可能な限りLED照明に移行した。(写真2)

○雨水をポリバケツに溜めて、グリーンカーテンの水遣り、公用車の洗車等に利用した。(写真3)

○アサガオによる「グリーンカーテン」づくり等に総合的に取り組んだ。(写真4)



写真1

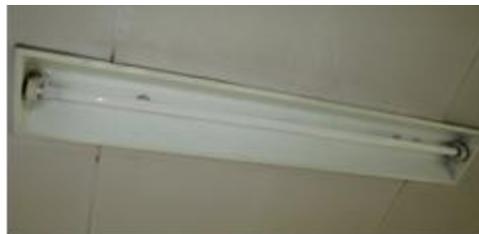


写真2



写真3



写真4



タイトル

「エコマネジメント長野コーナー」の設置など

所属名

野菜花き試験場

No.

5

## 取組み内容

○掲示板に「エコマネジメント長野コーナー」を設置し、電気や水道等の使用量を月毎にグラフ化して掲示し職員の意識の向上に努めた。

(写真1)

○夏の日差しを遮るため、本館一階の管理部前に緑のカーテンを設置した。(写真2)

○散水には雨水をためたタンクを利用し節水に努めた。(写真3)

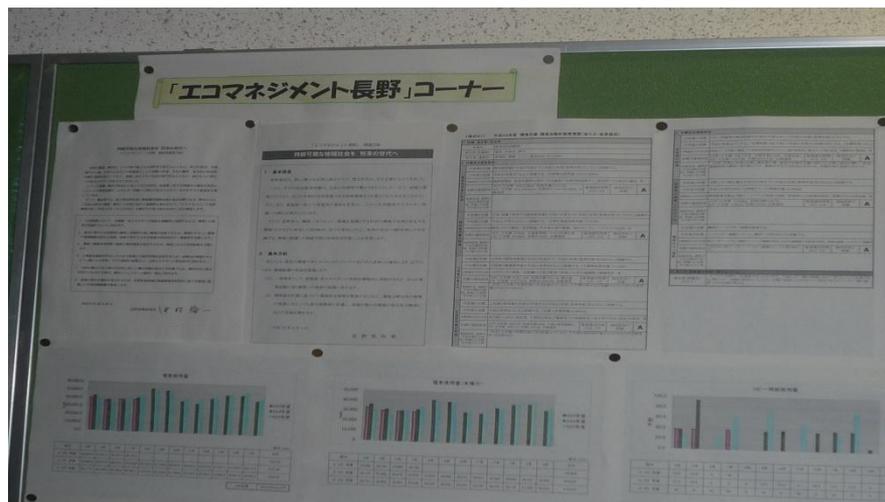


写真1



写真2



写真3



タイトル

「エコマネジメント長野」掲示板の設置

所属名

工業技術総合センター精密・電子技術部門  
上松技術専門学校、野菜花き試験場

No.

6

## 取組み内容

各所属でエコマネジメント長野の掲示板を作成し、周知を図っている。

○工業技術総合センター精密・電子技術部門では、エコマネジメント長野専用の掲示板を作成し、取組み目標やゴミの分別方法、エネルギー使用量を見える化し掲示を行った。

○エネルギー使用量のグラフ化  
→職員会議で周知（上松技術専門学校）



# デマンド監視装置による 電力需要の抑制



タイトル

デマンドコントロール装置による電力需要の抑制

所属名

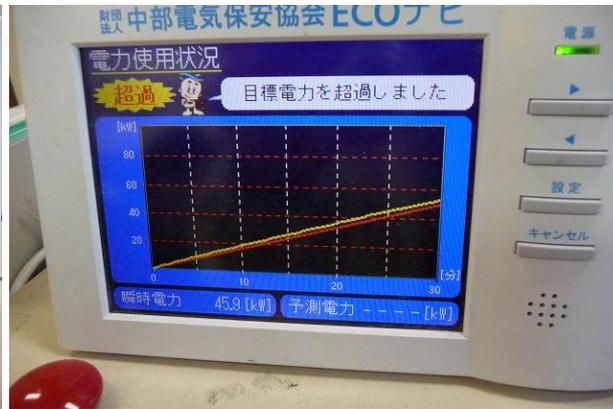
茅野高等学校

No.

7

## 取組み内容

○茅野高等学校や上松技術専門校では、デマンド監視装置を導入し、ピーク電力の抑制に努めることで、最大電力及び電気使用量が従前より2～3割削減され、経費削減にも繋がりました。また、電力使用状況を見える化し、定期的に職員会議で周知を図りました。





タイトル

エアコンのデマンドコントロール装置による制御

所属名

伊那弥生ヶ丘高等学校

No.

8

## 取組み内容

- 当校では、最大電力需要を抑制するため、デマンドコントロール装置を導入。(最大使用電力量が設定値に近づくと、あらかじめ設定してある体育館の水銀灯等の電源が自動的に一時遮断)
- 創立100周年の記念事業として、生徒の学習環境を更に整えるため、校舎の一部を改築して新たに学習室を設置し、エアコンを4台設置。
- エアコンにより、使用電力量の大幅な増加が見込まれたため、学習室のエアコンについても、半分がデマンドコントロール装置による制御が可能となるよう、工事を実施。

デマンドコントロール盤



デマンドコントロール本体



高効率照明の導入、不要な照明の消灯



タイトル

節電・省エネルギーの取組み

所属名

北佐久農業高等学校

No.

9

取組み内容

○人体感知センサー自動オンオフスイッチを、各階男女トイレに取付け。

○屋根からのドレン立て管の凍結防止ヒーターにタイマーを取付け、節電を図った。

○水の流しっぱなし防止等の日常的な節水、節水コマ等の使用に取り組んだ。

○「『エコロジカル・ハイスクール』宣言 スクールアクションプラン」を策定し、持続可能な循環型社会の実現に向けた農業教育と環境教育を推進し、地域の先進的な取組みを行う学校を目指している。

平成 25 年度 第 2 次スクール・アクションプラン「エコロジカル・アグリハイスクール」宣言		
<small>教職を高め、個人の適性進路に応じた専門的な技術に習熟し、平和な社会の形成者としてふさわしい資質を養う。この目的達成のためには次の教育目標を守り、人格の育成につとめなければならない。</small>		
学校教育目標	<small>(1) 個人の尊厳を重んじ、自他の敬愛と協力によって公民的教養を高めること。            (2) 勉学に精進し、勤労を尊ぶ。知性と徳性の向上につとめること。            (3) 健康に留意し、体位の向上につとめること。</small>	
中長期的な目標	<small>(1) 地域からの志願を高め、地域を担う人材を育成する。            (2) 持続可能な循環型社会にむけて環境・農業教育を推進し、地域の先進的なエコロジカル・アグリハイスクールを目指す。</small>	
長野県の農業高校の行動計画	北佐久農業高等学校の行動計画	重点化する項目・目標とする教育活動
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	
I 持続可能な循環型社会の実現に向けて農業教育と環境教育を推進し、地域の先進的なエコロジカル・アグリハイスクールを目指す。	①環境保全型農業を推進する農業教育を実施します。 ②自然環境保全などの環境教育を推進します。	◆作物・野菜・華花栽培において、堆きゅう肥の有効利用を図り、校舎での循環システムを確立し、減化学肥料に努めます。 ◆校舎農場の畜舎・搾乳施設内外の取扱いを整備するとともに、適切な資源処理に努めます。 ◆「食糧」「生命」「食糧」の教育を、率先・連携して行います。 ◆佐久平の有機的農業技術や文化を学ぶ中で、風土を理解させ、自然環境や生態系にも配慮した地域環境の創造を目指します。
II 農業に関する基礎的な技術や経営能力、倫理感をもった将来のスペシャリストを育成します。	③国際的な視野を備えた農業の担い手を育成します。 ④食の安全・安心教育を徹底します。	◆地域からの志願を高め、地域を担う人材を育成します。 ◆原料生産から流通・販売までのフードシステムについて理解させるとともに、高度な技術力を持った農業の担い手と理解者を育成します。 ◆生産者の立場からの「食育・食農」教育を推進します。 ◆安全・安心な農産加工品の製造を目指し、各種販売実習や日頃の加工実習での衛生管理の理解と徹底を図ります。
III 地域貢献、地域連携を推進し、地域農業の発展に努めます。	⑤地産地消を推進するとともに、地域の伝統文化の継承に努めます。 ⑥産業界や大学等との連携を強化します。	◆農業の6次産業化と地産地消を意図におき、生産から加工、販売、リサイクルまで一貫した農業教育を推進します。 ◆在来種を基盤とする地域農産資源の保全に努めるとともに、地域農産物の高品質化ならびに高収益化を目指した栽培方法に関する研究活動を推進します。 ◆地域の良材を活用し、特産品にできるような新商品の開発に関する研究活動を推進します。 ◆プロシエゴト学園において、大学等と連携した専攻生実践・技術の習得に努めます。 ◆産学官が連携し、地域が求める実践・技術に関する研究活動を推進します。
IV 農業教育の普及、奨励、支援を行います。	⑦すべての児童・生徒に対して、農業教育の普及活動を実施します。 ⑧すべての人に対して、農業に対する関心と理解が深まる活動を行います。	◆農業クラブ活動の活性化を図るとともに、クラブ員の資質向上に努めます。 ◆研修生研修や産業実習等キャリア教育の充実を図り産業界として必要な実践力を育成します。 ◆公開講座、交流事業などを積極的に受け入れ、地域の農業教育機関としての役割を果たします。 ◆地域連携・貢献・交流活動において「農業理解」を推進します。
V 東日本大震災からの農業の復興を支援し、自然災害による被害の軽減に努める人材を育成します。	⑨自然災害による被害の軽減や自然エネルギーの利用についての学習を推進します。 ⑩東日本大震災で被災した農業高校・生徒を支援します。	◆授業の中で効率的なエネルギーの利用方法や自然エネルギーの利用方法について学習します。 ◆被災地の復興状況を理解するとともに、関係高校・生徒への支援と交流を積極的に行います。



タイトル

節電、節水、ゴミ分別対策

所属名

長野商業高等学校

No.

10

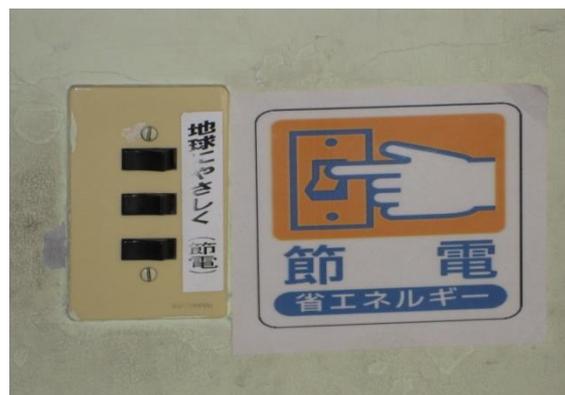
## 取組み内容

### ○掲示シールの作成

各階照明、トイレ出入口、教室出入口スイッチに掲示シールを貼り視覚に訴える。文化祭、デパートなどの行事の際、生徒に省エネの意義を伝え実行する。

○校舎の雨樋の下にコンテナボックスを設置し、植物の散水に利用。

○生徒会役員がリーダーとなりゴミ分別を指導実行している。



トイレ出入口



教室出入口



雨水利用

# その他節電・省エネルギーの 取組の実践



タイトル

排熱を暖房に利用

所属名

工業技術総合センター精密・電子技術部門

No.

11

## 取組み内容

加工塔2階のマシールームに排出口を作成し、コンプレッサーの排熱を廊下に放出した。

⇒廊下だけでなく、それに続く階段まで暖めることができ、暖房エネルギーの削減を図ることができた。



排熱利用



タイトル

節電対策の徹底

所属名

松本地方事務所地域政策課

No.

12

## 取組み内容

・使用していない場所の消灯及び休憩時の消灯を徹底。

・H f 蛍光管へ順次、取替えを実施（管が切れた場合に、H f 管に交換）

・環境部作成の「節電・省エネシール」を職員に配布し、パソコンに貼ることで意識啓発を図った。

（節電・省エネシールはこちらから）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/setsuden/shoene/documents/sheel.pdf>



節電・省エネシール



タイトル

太陽光発電のPR、総合的な節電・省エネ活動

所属名

上小地方事務所地域政策課

No.

13

## 取組み内容

上田合同庁舎において、下記の取組を行なった。

- ・ 節電対策
  - ①昼食休憩時間は各所課蛍光灯消灯。
  - ②就業時間中の廊下蛍光灯を消灯（来庁者に差し支え無い程度）
- ・ 太陽光発電のPR及び発電量の掲示。
- ・ 各所・各課での「緑のカーテンの設置」。
- ・ ゴミの分別収集の徹底。
- ・ 原則裏紙使用の周知。



南棟屋上に設置PR



太陽光発電量ロビーに設置しPR



緑のカーテン



分別収集の徹底



廊下蛍光灯の消灯



タイトル

その他節電の率直的な取組みについて

所属名

小諸高等学校、松本地方事務所地域政策課、諏訪地方事務所商工観光課

No.

14

## 取組み内容

### <小諸高等学校>

- ・ 緑のカーテンを設置し、日射負荷を低減。
- ・ 電気、水道及びガスの検針を、毎日朝・夕に行い、日々の変動を監視している。

### <松本地事地域政策課>

- ・ 公用車の洗車、樹木への散水を井水使用に切り替えたことにより、上水道使用量の削減につながった。

### <諏訪地事商工観光課>

- ・ 合庁内の各課、現地機関も参加する可能性の高い研修等の際には、声掛けをして、出来るだけ乗り合わせで出張するようにしている。
- ・ 退庁時には、パソコン等のプラグ抜きを徹底。合庁の節電ルールの遵守を徹底。  
(13時以降の電気ポットの不使用、照明の間引き等)

緑のカーテン



タイトル

緑のカーテンの設置、節電・省エネルギーの意識改革と取組み

所属名

東北信運転免許課

No.

15

## 取組み内容

○緑のカーテンで育ったゴーヤを朝採りし、庁舎の入口に置いて来庁者に自由にお持ち帰りいただきました。

○さわやか信州省エネ大作戦、節電・ピークカット、ライトダウン2012等について、課員が積極的に取組むよう会議等で指示し、啓発した。

○庁内掲示板に、県の広報チラシを掲出し、来庁者に対し県の省エネ対策をアピールした。

○節電・省エネに関して、庁舎内の外郭団体へ協力を依頼した。

○フラットファイル等、使い回しが可能な場合は有効活用する等して消耗品の購入を削減する努力を行った。





タイトル

緑のカーテンとよしずの活用

所属名

松本消費生活センター

No.

16

## 取組み内容

事務室西面が前面ガラス張りで、西陽による室温上昇が大きいいため、朝顔とゴーヤを植栽し、緑のカーテンづくりに取組んだ。

併せて、よしずを活用して日射負荷を低減し、冷房エネルギーを削減した。





タイトル

緑のカーテン

所属名

文化財・生涯学習課、須坂建設事務所

No.

17

## 取組み内容

○ベランダにアサガオをそだてて、太陽光を遮断、屋内の温度上昇を抑制し、省エネに取り組んだ。

（文化財・生涯学習課）

○庁舎南側の窓にヨシズを張るとともに、ゴーヤを育て緑のカーテンづくりに取り組んだ。

（須坂建設事務所）



文化財・生涯学習課 1



文化財・生涯学習課 2



文化財・生涯学習課 3



須坂建設事務所



タイトル

「できることから始めよう」大作戦

所属名

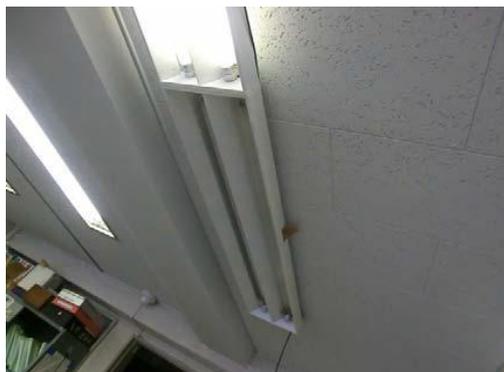
体育センター

No.

18

## 取組み内容

- 事務所の窓をゴーヤとアサガオで緑のカーテンを作った。
- 事務室証明の一括スイッチを個別スイッチに替えた。
- 会議を電子（ペーパーレス）会議で行った。
- 使用頻度の低い場所の蛍光灯を外した。





タイトル

緑のカーテン

所属名

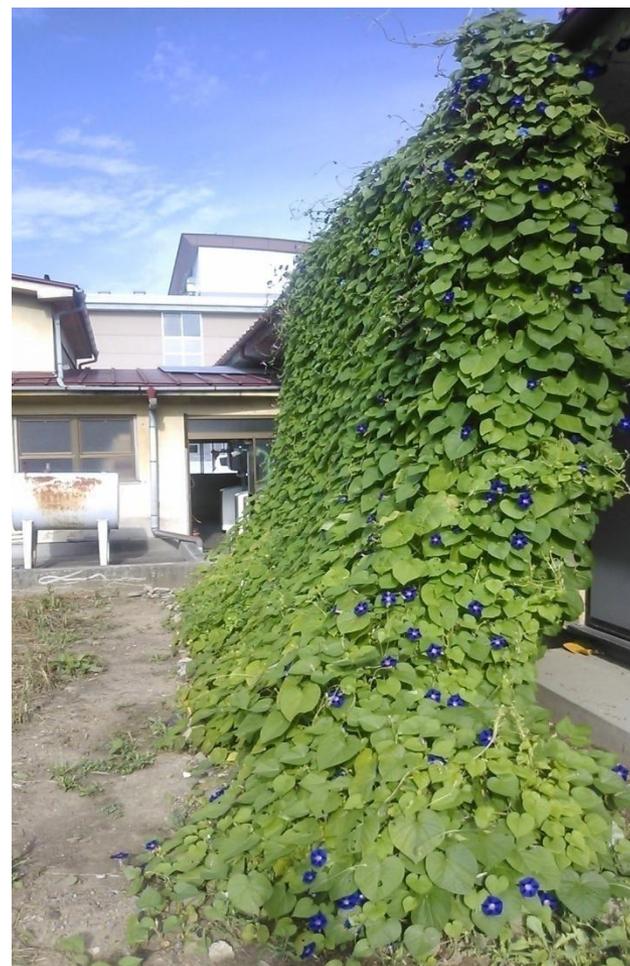
長野ろう学校

No.

19

## 取組み内容

『緑のカーテンの取組』により、アサガオを植栽し、日差しの強かった学校の食堂に日陰をつくり、暑さを忘れることができた。





タイトル

緑のカーテン

所属名

高速道路交通警察隊、機動隊

No.

20

## 取組み内容

○高速道路交通警察隊松代管制室は、県下の高速道路のモニター画面等の機器が多数設置されており、機器から発せられる熱により、管制室内は、真夏日にはエアコンを使用しても30度を下らない。このため、「緑のカーテン」（朝顔等）を設け、省エネルギー対策を推進するとともに、勤務員の環境改善を図った。

○機動隊では、事務室、隊長室の南側にプランターを置きゴーヤの苗を植えた。猛暑の前に成長し、隊舎一階の窓を覆う緑のカーテンとして機能した。





タイトル

緑のカーテン、節電・省エネルギーの取組み

所属名

南信農業試験場

No.

21

## 取組み内容

○雨水を利用して、緑のカーテン（朝顔）を育成した。

○情報の共有

光熱水費の使用量及びゴミの分別徹底について、職員会で配布・周知を図った。

○「地域ぐるみ環境ISO研修会」の「一斉行動週間」へ参加し、地域の取組みに貢献した。





タイトル

緑のカーテンによる省エネ活動

所属名

蓼科高等学校、諏訪実業高等学校

No.

22

## 取組み内容

### < 蓼科高等学校 >

#### ○5月初旬

アサガオ種子の種蒔 → 苗の植え付け (10本程度)

植え付け規模 幅6m×高さ 5m

1階保健室及び2階教務室の日除けを目的として実施したが、結果的にはつるが2階まで届かない状況であった。

(次回改善点)

- ・アサガオのみではなく、号やなどのつる物の苗の増殖及び適正植え付け本数の検討
- ・受付場所の土壌の改善
- ・適正な肥料の散布、定期的な散水等の励行

### < 諏訪実業高等学校 >

○種から育てたアサガオの花をプランターに植え事務室東窓の外に設置しました。日差しの強い朝方でもアサガオのおかげでカーテンを閉めることもなく、更に電気をつけなくても明るいといった一石二鳥の成果を挙げることができました。

○美しく咲いたアサガオの花に我々職員が心癒されたり、来校されるお客様に対しても気持ちの良い環境づくりが出来たりと、とても良い取り組みだったといえます。

省資源



タイトル

紙使用量削減のための工夫①

所属名

松本児童相談所

No.

23

## 取組み内容

### ①使用量の削減

毎週火曜日開催の定例会議の資料を、紙配布からプロジェクター利用に変更した。

### ②購入量の管理

- ・年間の購入量は、エコマネジメントの目標枚数と決め、購入時期と購入箱数をあらかじめ決め、その目安に沿って購入した。
- ・職員にも朝会で「うちの所は年間〇箱が目標なので、残りの期間で購入できるのは〇箱だけです。

1ヶ月あたり〇箱、一人1日あたりだと〇枚使える計算です。」と話した。その結果、職員も節約に積極的になり、上記①のプロジェクター利用提案も職員の中から出て、課題を前向きに解決しながら、実現することができた。

### ③様式の変更

上記②のとおり、「購入量は増やさない」と決めたので、使用量を減らすために、1枚あたりの情報量（掲載件数）を増やし、掲載件数を倍にして両面印刷にした。





タイトル

紙使用量削減のための工夫②

所属名

松本児童相談所

No.

24

## 取組み内容

### ④古封筒の有効活用（裏紙の確保）

裏紙のうち、メモ用紙に利用していた分を減らして印刷用に確保するために、メモ用紙には「長3古封筒の内側」を使うことにした。

（職員の中からは、「色が付箋紙のように各色あり、伝言メモとして使うとき目立って良い」「使ってみたら手放せなくなった」との感想が聞かれた）

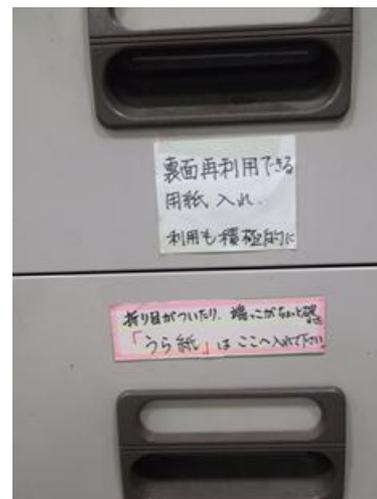
### ⑤廃棄文書の分別徹底、裏紙もランク付けして徹底活用

・ロッカーの1段目。ダンボールで上下に分けて、上は「穴なし裏紙」、下は「穴あき裏紙」置き場に。

（最近では、ロッカーから取出す時間を短縮するため、プリンタの隣に裏紙を置いている）

・ロッカーの2段目。「折り目がついたり、端っこがちょっと破れた裏紙」はここへ入れてもらい、プリンタやコピー機が詰まらなければ内部用に利用。

（奥にあるのは乾燥剤。以前、他所の取組事例で、梅雨時など用紙が湿ってプリンタが紙詰まりするときに乾燥剤を利用すると紹介されていたので、海苔などの乾燥剤を集めて利用している）





タイトル

紙使用量削減のための工夫③

所属名

松本児童相談所

No.

25

## 取組み内容

⑥証拠書貼付台紙には、廃棄文書から分別した印刷に適さない裏紙を利用。

- ・会計担当（エコマネジメント推進員）用のレターケースに、「証拠書貼付用の裏紙」を入れている。
- ・「両面印刷済みで裏面の余白が多い紙」や「廃棄文書から分別した裏紙（かつて貼付台紙として使われ証拠書は廃棄し糊代部分が残っている）」などを入れておき、再び証拠書貼付台紙にしたり、簡易なメール文書の印刷などに利用している。





タイトル

その他紙使用量の削減

所属名

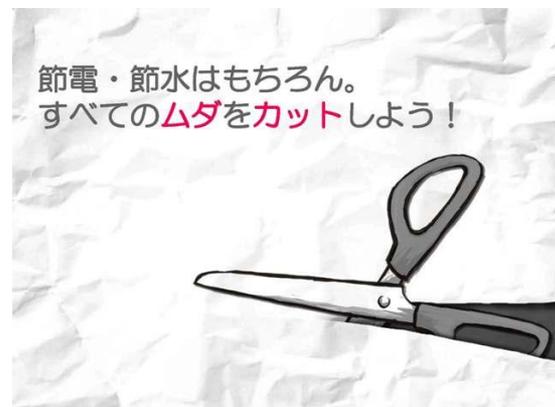
警察本部、佐久家畜保健衛生所

No.

26

## 取組み内容

- 不要書類の裏紙を利用し、紙の削減を実施した。（広報相談課）
- 署内で使用し不要になった用紙から、片面のみ使用した用紙をストックしておいて、プリンター用紙として再利用した。使用に当たっては、裏面に印字があっても支障ないものを使用した。（阿南警察署）
- 紙使用量の削減の取組み  
所内にムダをなくすための貼紙をし、職員の意識啓発を図った。（佐久家畜保健衛生所）





タイトル

ゴミ分別の徹底

所属名

工業技術総合センター精密・電子技術部門

No.

27

## 取組み内容

○可燃ゴミ処理場に出向き、ゴミの分別に関してアドバイスをいただいた。その後、所属で講習会を開催し周知・徹底を図った。

○共有フォルダ内に分別・処理方法が不明なゴミについての質問コーナーを設置した。質問のあったものに関してはゴミ処理場を確認し、回答を行った。

⇒分別の徹底により、可燃ゴミが大きく減少し資源として排出できた。



ゴミ分別



タイトル

ごみの分別収集の徹底

所属名

工業技術総合センター 環境・情報技術部門

No.

28

## 取組み内容

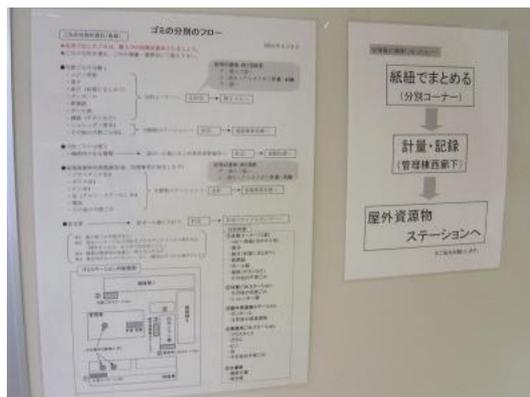
- 資源物化を進め、廃棄物量を削減するために、ごみの分別を徹底。
- 業務内容に合ったスムーズな分別方法となるように、随時検討し改善を図っている。フローチャートを掲示して周知・徹底を図っている。
- 廃棄物、資源物の重量測定を徹底し、排出量を把握。各自が排出量を認識し、取組意識の向上へ（排出時に各職員が計量）



屋内の分別コーナー



屋外の分別ストッカー



分別方法のフローチャート



排出量計量コーナー



タイトル

雑紙の分別収集

所属名

諏訪湖流域下水道事務所

No.

29

## 取組み内容

- 平成25年1月から、可燃ごみとして一般廃棄物処理業者へ渡していたメモ用紙、封筒、包装紙、包装箱などの印刷古紙、段ボール・新聞紙以外の紙資源を分別回収し、地元の資源回収業者へ引き渡した。
- 併せて、焼却処理として行っていたシュレッダー紙も、資源回収業者の協力を得て古紙資源として回収した。
- この結果、可燃ごみの排出量は平成24年度第1四半期11.4m<sup>3</sup>、平成25年度第1四半期3.96 m<sup>3</sup>で前年の約1/3の排出量となった。





タイトル

電子供覧の試行による紙使用量の削減

所属名

情報公開・私学課

No.

30

## 取組み内容

○受信した電子メール文書を、紙に出力せず、文書管理システムの「電子供覧」機能を利用した供覧を推進している。

○紙の使用量の削減、事務の効率化、保存文書の削減による文書保管スペースの確保等、行政コストの削減に繋がり、本来業務における環境配慮の取組みを推進。

### 電子メール

課内や係内で共有すべき内容



「お知らせ」「事務連絡」等であって、保存区分が1年未満のもの



紙に出力して保存する必要がないもの

電子供覧に  
チャレンジ！！

### 具体的には…

- ・課内や係内に周知しておくべき事務的な内容
- ・全庁的に取組む事業等の通知
- ・定例的な報告
- ・簡易的な情報（電子データ）の共有 等

- ・課内や係内に周知しておくべき事務的な内容 (例)  
『耐震改修工事に伴う利用制限について』  
『【お知らせ】扶養手当、被扶養者及び児童手当の現況届について』  
『【事務連絡】議会棟出入口の施錠時間の変更について』 等
- ・全庁的に取組む事業等の通知  
『【お知らせ】「一人1改善・提案事業」の募集がはじまります』 等

環境学習、環境保全活動



タイトル

学習環境整備事業における生徒会の取組み

所属名

松本美須々ヶ丘高等学校

No.

31

## 取組み内容

○生徒会が主体となって、学習環境整備に取り組んでいる。

○平成24年度は図書館の書架のペンキ塗り等を行い、生徒の環境に対する意識の高揚に繋がった。

また、書架を明るいペンキで塗ることにより部屋全体が明るくなり、結果的に照明器具を少なくすることができた。



活動の様子



書架の塗装前



書架の塗装後



タイトル

環境美化活動

所属名

警察本部

No.

32

## 取組み内容

- 毎朝、署員が集まり庁舎周辺の草取りを行った。また、庁舎前の花壇に花を植栽し、職場環境づくり・環境美化活動に取り組んだ。（軽井沢警察署）
- 駐車場内や隣接地からの雑草の増大を抑えるための草取りやたばこの吸い殻等のゴミ拾いを、職員が自主的に行い、良好な庁舎等の環境維持に努めた。（東北信運転免許課）

